

令和6年度 第1回学校関係者評価委員会議事録

鹿児島県立鶴丸高等学校

1 日 時 令和6年7月2日(月) 15:00~16:40

2 場 所 本館3階 研修室A

3 出席者 計15名

評価委員(3名)

本校同窓会副会長(卒業生代表)

私立短期大学教授(地域代表)

公立中学校長(中学校代表)

学校側出席者(12名)

- ・校長
- ・教頭(2名)
- ・事務長
- ・教務課主任
- ・生徒指導課主任
- ・保健課主任
- ・進路指導課主任
- ・1学年主任
- ・2学年副主任
- ・3学年主任
- ・教務課副主任

4 会 順

- (1) 校長あいさつ
- (2) 学校評価実施要項について
- (3) 学校経営の概況について
- (4) 信頼される学校づくりについて
- (5) いじめ防止対策について
- (6) 各課の課題と取組
5課: 教務, 生徒指導, 進路指導, 保健, 事務
※各学年は2回目におこなう。
- (7) 質疑応答・各委員から

5 質疑応答

- (1) 学校評価実施要項について
質問や意見は特に述べられなかった。
- (2) 学校経営の概況について
 - ・X等のSNSの利用は、近年多様化する情報発信に応じた良い取り組みである。
 - ・非認知能力の重視は、有益な人材を育成するのに重要であり、歓迎したい。
- (3) 信頼される学校づくりについて
 - ・鶴丸の職員であるという自覚に基づく内的規制は外から見ても感じるところであり、先生方のチームワークの良さは生徒に伝わり、良い影響を与えられる。
 - ・生徒の弱さも受け入れるような意識改革と、生徒と寄り添う時間の工夫をさせていただきたい。
 - ・学生の相談件数は増加し、内容も複雑化しているが、高校での取り組みは如何か。
- (4) いじめ防止対策について
 - ・アンケートに書けない生徒もあり、これだけが全てではないという意識が必要。
 - ・自己有用感・自尊感情を持たせるために、結果だけでなく、頑張った過程を認めるという視点を持つことが重要であり、いじめ防止にもつながる。
- (5) 各課の課題と取組
 - ・生徒指導の重点項目などの変容は、どのような状況によるものか?
→生徒指導提要改訂に基づき、本校の重要課題である点について取りあげた。
 - ・不登校の生徒が復帰する、或いは、なりたい自分になれるようなフォローの仕方、フィードバックの仕方を考えていただきたい。
 - ・コロナ対策は依然重要であり、気を緩めず継続していただきたい。
 - ・夜間暗い箇所に足元灯などを設置してはどうか。
 - ・職員のChatGPTの利用、生徒の関わり方などは、今後検討すべき課題である。
 - ・単元テストの実施は、生徒の伸びにもつながる可能性があるが、現状どうか?
→生徒間には、ポジティブなとらえ方があり、これを広めていきたい。
- (6) 各委員から
 - ・先生方が真剣に生徒を育ててくださっており、安心して子どもを任せられることに感謝したい。

- ・今後も同窓会とともに協力体制を取りながらいきたい。
- ・大学合格者は成果を出されている。様々な取り組みをされており、多様化する入試制度に対応でき、今後も期待できる。
- ・公立 No.1 鶴丸でも、あぐらをかかず、様々な取り組みをされている。今後も行きたい学校 No.1 であり続けてほしい。
- ・今後も本県の教育のために情報共有をしていきたい。

6 今後の予定

- (1) 第2回委員会 (11月中旬)
中間評価, 学校行事 (集団読書) の参観, 施設見学, 意見交換
- (2) 第3回委員会 (2月中旬)
自己評価 (最終) 評価, 教職員との対話, 意見交換